

(別紙1)
<講演者紹介>

デジタル庁統括官 国民向けグループ長
村上 敬亮 (むらかみ けいすけ)



<経歴等>

- 1990年 東京大学教養学部卒業、通商産業省入省
- 2005年 資源エネルギー庁官房総合政策課長補佐(企画担当)
- 2006年 経済産業省官房会計課長補佐(企画担当)
- 2007年 経済産業省産業技術環境局技術振興課企画官
(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構担当)
- 2008年 経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長
- 2009年 経済産業省産業技術環境局環境政策課地球環境対策室長
- 2011年 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課長 兼 新エネルギー等電気利用推進室長 兼 再生可能エネルギー推進室長
- 2014年7月 経済産業省経済産業政策局調査課長
10月 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官
- 2015年 兼内閣府地方創生推進室参事官
- 2017年 内閣府地方創生推進室次長兼内閣府地方創生推進事務局審議官
- 2020年 中小企業庁経営支援部長
- 2021年7月 内閣官房情報通信技術(I T)総合戦略室内閣審議官
9月 デジタル庁統括官(国民向けサービスグループ長)

2014年に内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官として、国家戦略特区も含め地方創生業務を担当。地域創生イニシアティブ「まち・ひと・しごと創成総合戦略」を主導。このときの取組が称えられ、2020年度「Agile50」(公共部門を変革する世界で最も影響力のある50人)に選出。

2021年からは内閣官房情報通信技術総合戦略室内閣審議官として、デジタル庁の創設に取り組み、同年9月から、デジタル庁統括官として、政府情報システムについて共通の基盤・機能となる「ガバメントクラウド」「ガバメントソリューションサービス」の利用環境や整備・運用に取り組むほか、準公共分野(健康・医療・介護、教育、農業・水産業、モビリティ、防災、港湾、インフラ)で国や独立行政法人、地方公共団体、民間事業者などがサービスやデータを連係させやすい環境の整備に取り組む。